

宮城県監査委員告示第5号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第9項の規定により報告した定期監査結果について、宮城県知事から同条第12項の規定により下記の措置を講じた旨の通知があったので、同項の規定により公表する。

平成26年6月13日

宮城県監査委員	安部	孝
宮城県監査委員	ゆさ	みゆき
宮城県監査委員	遊佐	勘左衛門
宮城県監査委員	工藤	鏡子

記

- 1 監査委員の報告日
平成26年3月27日
- 2 通知のあった日
平成26年5月20日
- 3 監査委員の報告の内容及び措置の内容
 - (1) 公文書館
 - イ 監査委員の報告の内容
旅費において、2年連続して3か月以上の支払遅延が認められたので、今後再発しないように対策を講じられたい。
(内容)
 - ・件数 55件
 - ・金額 44,083円
 - ロ 措置の内容
 - (イ) 職員のスケジュール管理表を作成し、その中に出張を伴う業務がある場合のチェック欄を設け、財務庶務システム上の旅行命令、支出命令及び精算の手続が行われたかを確認する。
 - (ロ) 財務庶務システムで旅費支給情報照会を定期的に行い、支出手続が遅延しているものがないかを確認するなどにより適正な事務処理を行う。
 - (ハ) 多忙な時期の相互支援体制や複数の目による確認を強化し、再発防止に努める。
 - (2) 仙台南県税事務所
 - イ 監査委員の報告の内容
県税において、収入未済を解消する努力は見られるが、なお収入未済があったので、更に適切な徴収対策を講じ、税収の確保に努められたい。
(内容)
 - ・H24年度収入未済額
 - 現年度分 127,891,377円
 - 過年度分 355,131,489円
 - 合計 483,022,866円
 - ・H23年度収入未済額
 - 現年度分 158,440,736円
 - 過年度分 470,613,683円
 - 合計 629,054,419円

ロ 措置の内容

収入未済額の更なる縮減を図るため、新たな徴収体制として平成24年度から導入した機能分担制を推進し、初動・調査チームと処分チームの連携を強化しながら、「収入未済額前年度比10%減」を目標に掲げ、より効率的な滞納整理に努めた。

初動・調査チームにおいては、早期納入を促すため効果的な催告を実施するとともに、迅速かつ効率的な滞納処分につながるよう毎月約150件程度の預金調査をはじめ徹底した財産調査を行うなど担税力の把握と滞納要因の分析に取り組み、必要に応じ処分チームへ適切な引継を行った。

また、処分チームにおいては、預貯金や給与、自動車など年間1,000件を超える差押えを行うなど早期の滞納処分に取り組むとともに、長期高額滞納案件の整理に当たっては、より換価可能な財産への差押えなどの見直しを行いながら折衝を重ね滞納額の縮減に努めた。

更に、個人県民税の滞納額縮減に向けて、住民税徴収対策会議等を通じ市町との連携を深めるとともに直接徴収にも取り組んだ。

(3) 仙台中央県税事務所

イ 監査委員の報告の内容

県税において、収入未済を解消する努力は見られるが、なお収入未済があったので、更に適切な徴収対策を講じ、税収の確保に努められたい。

(内容)

・ H24年度収入未済額

現年度分	1,061,532,515円
過年度分	2,062,936,253円
合計	3,124,468,768円

・ H23年度収入未済額

現年度分	790,824,425円
過年度分	2,863,253,539円
合計	3,654,077,964円

ロ 措置の内容

(イ) 個人県民税

当所収入未済額の89%を占める個人県民税は、仙台市で市民税と併せて徴収している。

仙台市では、平成24年10月に徴収部門を本庁に集約し、不動産761件、給与1,541件等合計3,035件の差押えを実施するなど徴収の強化を図った。

その結果、滞納繰越分の収入率は、平成23年度17.04%、平成24年度25.05%、平成25年度32.80%と大幅に向上している。

また、当所では、自動車所有情報や自動車還付金情報の提供等の支援を行っている。

(ロ) その他の税

自動車税等一般税は、今年度、滞納者の勤務先、預金等調査を早期に実施し、給与、預貯金、自動車を中心に424件の差押えを実施した。また、搜索による動産差押えやタイヤロックによる自動車引き上げを実施した。特に搜索は、15回実施し、うち13回で動産差押えを行い、69点を売却し、代金を税に充当した。

(4) 仙台地方振興事務所

イ 監査委員の報告の内容

工事請負契約において、不適切な取扱いが認められたので、今後再発しないよう対策を講じられたい。

(内容)

工事請負契約の一般競争入札総合評価落札方式（特別簡易型）による競争入札につい

て、被災者等雇用実績に係る申請書類の確認を誤っていたもの。

- ・名取市(7・10・11)・岩沼市(11)農地復旧除塩工事
- ・手樽復旧治山工事

ロ 措置の内容

本件発覚直後に、所の部長会を開催し、適切な入札・契約事務の処理手続の徹底を指示するとともに、これまでに執行した契約工事について再調査を実施した。

併せて、再発防止に向け、落札者決定作業に係る裏付け資料確認等に対する各班単位、各部単位における二重チェック体制の厳格化と各職責における確認行為を徹底するよう指示し、チェック体制の強化を図った。

(5) 東部地方振興事務所

イ 監査委員の報告の内容

行政財産の使用許可に係る使用料及び返還金（自動車重量税の還付金）において、6か月以上の調定遅延が認められたので、今後再発しないように対策を講じられたい。

(内容)

○行政財産の使用許可に係る使用料

4月1日に調定すべき建物及び電柱敷地等の使用料について、翌年1月に調定したもの。

- ・件数 4件
- ・調定金額 38,470円

○返還金（自動車重量税の還付金）

6月に国庫金送付通知書があった自動車重量税の還付金について、翌年3月に調定したもの。

- ・件数 25件
- ・調定金額 112,459円

ロ 措置の内容

班の年間業務スケジュールに登録を行い担当班長が進行管理することとしたほか、毎月、総括担当を含めて相互に事務処理の状況をチェックする体制とし、適正に事務処理を行っている。

(6) 気仙沼地方振興事務所

イ 監査委員の報告の内容

工事請負契約において、不適切な取扱いが認められたので、今後再発しないように対策を講じられたい。

(内容)

工事請負契約の一般競争入札総合評価落札方式（特別簡易型）による競争入札について、被災者等雇用実績に係る申請書類の確認を誤っていたもの。

- ・気仙沼漁港外臨港道路嵩上工事

ロ 措置の内容

本件発覚後、水産漁港部内会議を開催し、適切な入札事務手続の徹底を指示するとともに、これまで執行した公共工事の入札に関しての再調査を実施し、他に不備がないことを確認した。

再発防止の対応として、落札候補者の決定及び総合評価技術資料の裏付け資料の認定については、工事担当部内において、チェックシートによる複数人での確認と併せて決裁を得ることとし、チェック体制の強化等を行った。

(7) 大河原土木事務所

イ 監査委員の報告の内容

工事請負契約において、不適切な取扱いが認められたので、今後再発しないように対策を講じられたい。

(内容)

工事請負契約の一般競争入札総合評価落札方式（特別簡易型）による競争入札について、被災者等雇用実績に係る申請書類の確認を誤っていたもの。

- ・金谷外道路災害復旧工事

ロ 措置の内容

今回の件を踏まえ、総合評価に係る審査については担当班長任せとすることなく、別途確認部会を開催して審査結果の妥当性について“第三者の目”でチェックすることにより、再発防止に努めている。

(8) 東部土木事務所

イ 監査委員の報告の内容

工事請負契約において、不適切な取扱いが認められたので、今後再発しないように対策を講じられたい。

(内容)

工事請負契約の一般競争入札総合評価落札方式（特別簡易型）による競争入札について、被災者等雇用実績に係る申請書類の確認を誤っていたもの。

- ・鷲神浜(11)外道路災害復旧工事

ロ 措置の内容

総合評価については、審査者を増員するとともに評価が難しい場合は更に上位の職員を含めて審査することとし、審査体制の強化を図った。

更に、評価に不明な点が生じた場合は、所管課に確認した上で審査を実施し、その事例の共有化を図り適正な審査に努めた。

(9) 中南部下水道事務所

イ 監査委員の報告の内容

行政財産の使用許可に係る使用料において、6か月以上の調定遅延が認められたので、今後再発しないように対策を講じられたい。

(内容)

4月1日に調定すべき電柱敷地使用料について、翌年4月に調定したもの。

- ・件数 1件
- ・調定金額 3,000円

ロ 措置の内容

調定漏れ及び調定遅延の発生を防止するため、使用許可担当班と調定事務担当班との間で使用許可等に関する情報交換を定期的に行うとともに、行政財産使用許可一覧等関係資料を活用し、情報の共有化とチェック体制の強化を図ることとした。

(10) 教育研修センター

イ 監査委員の報告の内容

委託契約において、不適切な取扱いが認められたので、今後再発しないように対策を講じられたい。

(内容)

産業廃棄物収集運搬処理業務委託契約について、予定価格が100万円を超えているにもかかわらず、少額による随意契約を締結したもの。

- ・予定価格 1,145,025円
- ・契約額 420,000円

ロ 措置の内容

今後、不適切な取扱いが生じないよう会計研修会等に参加し、入札契約制度の正確な理解を図っていく。

また、財務規則に基づき、適切な事務処理を行うよう毎日の打合せ等で周知徹底を図るとともに担当者だけでなく複数の職員による審査体制を整備し、全体で共通理解のもと相互チェックを十分に行うこととした。

(11) 古川高等学校

イ 監査委員の報告の内容

教育財産の使用許可に係る使用料及び光熱水費において、6か月以上の調定遅延が認められたので、今後再発しないように対策を講じられたい。

(内容)

- ・件数 30件
- ・調定金額 339,588円

ロ 措置の内容

各担当の事務執行状況の把握が適切に行われなかったことが原因と考え、毎朝短時間の打合せを行い、当日の事務内容及び事務執行期限等の共有を図ることで再発を防止している。

(12) 泉高等学校

イ 監査委員の報告の内容

教育財産の使用許可に係る使用料及び光熱水費において、6か月以上の調定遅延が認められたので、今後再発しないように対策を講じられたい。

(内容)

- ・件数 116件
- ・調定金額 747,629円

ロ 措置の内容

光熱水費の調定は校舎等の光熱水費支払処理と同時期に、使用料の調定は教育財産使用許可と同時期に行うこととした。併せて、使用許可担当と使用料調定担当の分担を明確にし、相互確認の声掛けを行うこととした。

また、調定状況一覧表を作成し、見える化することにより、調定遅延・調定漏れを防ぐよう複数の目で確認できるようにした。調定から収入への流れを明確にするため、収納後は管理職決裁を受け最終確認としていく。

(13) 仙台向山高等学校

イ 監査委員の報告の内容

賃金において、支払遅延が認められたので、今後再発しないように対策を講じられたい。

(内容)

臨時職員の賃金について、翌月10日の支給定日を過ぎて支払をしたもの。

- ・件数 1件
- ・金額 110,781円

ロ 措置の内容

余裕を持った支出命令確認を実施するとともに、出力された支出命令確認票を担当者にも再確認させ、支払日に誤りがないか複数で確認することとした。

(14) 仙台中央警察署

イ 監査委員の報告の内容

遊技機変更承認申請等に係る証紙徴収において、条例の確認不足により複数年にわたり手数料を過徴収していたことが認められたので、再発防止に向けて速やかに事務の改善を

講じられたい。

(内容)

- ・件数 211件
- ・過徴収金額 10,240円

ロ 措置の内容

(イ) 各種会議、研修会等への出席

事案の発生を受けて開催された、緊急県下生活安全課長会議、許可等事務担当者研修会等に職員を出席させるとともに、出席者から課員に対する具体的な指導教養を実施させ、再発防止の徹底を図った。

(ロ) チェック表を活用した点検の実施

平成25年7月に、本部主管課から指示されたチェック表を活用して、許可等事務処理要領等の資料（平成25年4月受領）を許可等事務担当者及び幹部が、公安委員会関係手数料条例の手数料項目ごとに突合点検を実施して再発防止に努めた。

(15) 仙台南警察署

イ 監査委員の報告の内容

遊技機変更承認申請等に係る証紙徴収において、条例の確認不足により複数年にわたり手数料を過徴収していたことが認められたので、再発防止に向けて速やかに事務の改善を講じられたい。

(内容)

- ・件数 546件
- ・過徴収金額 21,660円

ロ 措置の内容

(イ) 各種会議、研修会等への出席

事案の発生を受けて開催された、緊急県下生活安全課長会議、許可等事務担当者研修会等に職員を出席させるとともに、出席者から課員に対する具体的な指導教養を実施させ、再発防止の徹底を図った。

(ロ) チェック表を活用した点検の実施

平成25年7月に、本部主管課から指示されたチェック表を活用して、許可等事務処理要領等の資料（平成25年4月受領）を許可等事務担当者及び各級幹部が、公安委員会関係手数料条例の手数料項目ごとに突合点検を実施して再発防止に努めた。

(16) 仙台北警察署

イ 監査委員の報告の内容

遊技機変更承認申請等に係る証紙徴収において、条例の確認不足により複数年にわたり手数料を過徴収していたことが認められたので、再発防止に向けて速やかに事務の改善を講じられたい。

(内容)

- ・件数 282件
- ・過徴収金額 11,780円

ロ 措置の内容

(イ) 各種会議、研修会等への出席

事案の発生を受けて開催された、緊急県下生活安全課長会議、許可等事務担当者研修会等に職員を出席させるとともに、出席者から課員に対する具体的な指導教養を実施させ、再発防止の徹底を図った。

(ロ) チェック表を活用した点検の実施

平成25年7月に、本部主管課から指示されたチェック表を活用して、許可等事務処理要領等の資料（平成25年4月受領）を許可等事務担当者及び各級幹部が、公安委員会関

係手数料条例の手数料項目ごとに突合点検を実施して再発防止に努めた。

(17) 仙台東警察署

イ 監査委員の報告の内容

遊技機変更承認申請等に係る証紙徴収において、条例の確認不足により複数年にわたり手数料を過徴収していたことが認められたので、再発防止に向けて速やかに事務の改善を講じられたい。

(内容)

- ・件数 387件
- ・過徴収金額 13,020円

ロ 措置の内容

(イ) 各種会議，研修会等への出席

事案の発生を受けて開催された，緊急県下生活安全課長会議，許可等事務担当者研修会等に職員を出席させるとともに，出席者から課員に対する具体的な指導教養を実施させ，再発防止の徹底を図った。

(ロ) チェック表を活用した点検の実施

平成25年7月に，本部主管課から指示されたチェック表を活用して，許可等事務処理要領等の資料（平成25年4月受領）を許可等事務担当者及び各級幹部が，公安委員会関係手数料条例の手数料項目ごとに突合点検を実施して再発防止に努めた。

(18) 泉警察署

イ 監査委員の報告の内容

遊技機変更承認申請等に係る証紙徴収において、条例の確認不足により複数年にわたり手数料を過徴収していたことが認められたので、再発防止に向けて速やかに事務の改善を講じられたい。

(内容)

- ・件数 311件
- ・過徴収金額 13,840円

ロ 措置の内容

(イ) 各種会議，研修会等への出席

事案の発生を受けて開催された，緊急県下生活安全課長会議，許可等事務担当者研修会等に職員を出席させるとともに，出席者から課員に対する具体的な指導教養を実施させ，再発防止の徹底を図った。

(ロ) チェック表を活用した点検の実施

平成25年7月に，本部主管課から指示されたチェック表を活用して，許可等事務処理要領等の資料（平成25年4月受領）を許可等事務担当者及び各級幹部が，公安委員会関係手数料条例の手数料項目ごとに突合点検を実施して再発防止に努めた。

(19) 塩釜警察署

イ 監査委員の報告の内容

遊技機変更承認申請等に係る証紙徴収において、条例の確認不足により複数年にわたり手数料を過徴収していたことが認められたので、再発防止に向けて速やかに事務の改善を講じられたい。

(内容)

- ・件数 371件
- ・過徴収金額 12,740円

ロ 措置の内容

(イ) 各種会議，研修会等への出席

事案の発生を受けて開催された、緊急県下生活安全課長会議、許可等事務担当者研修会等に職員を出席させるとともに、出席者から課員に対する具体的な指導教養を実施させ、再発防止の徹底を図った。

(ロ) チェック表を活用した点検の実施

平成25年7月に、本部主管課から指示されたチェック表を活用して、許可等事務処理要領等の資料（平成25年4月受領）を許可等事務担当者及び各級幹部が、公安委員会関係手数料条例の手数料項目ごとに突合点検を実施して再発防止に努めた。

(20) 登米警察署

イ 監査委員の報告の内容

遊技機変更承認申請等に係る証紙徴収において、条例の確認不足により複数年にわたり手数料を過徴収していたことが認められたので、再発防止に向けて速やかに事務の改善を講じられたい。

(内容)

- ・ 件数 3件
- ・ 過徴収金額 80円

ロ 措置の内容

(イ) 各種会議、研修会等への出席

事案の発生を受けて開催された、緊急県下生活安全課長会議、許可等事務担当者研修会等に職員を出席させるとともに、出席者から課員に対する具体的な指導教養を実施させ、再発防止の徹底を図った。

(ロ) チェック表を活用した点検の実施

平成25年7月に、本部主管課から指示されたチェック表を活用して、許可等事務処理要領等の資料（平成25年4月受領）を許可等事務担当者及び各級幹部が、公安委員会関係手数料条例の手数料項目ごとに突合点検を実施して再発防止に努めた。

(21) 河北警察署

イ 監査委員の報告の内容

遊技機変更承認申請等に係る証紙徴収において、条例の確認不足により複数年にわたり手数料を過徴収していたことが認められたので、再発防止に向けて速やかに事務の改善を講じられたい。

(内容)

- ・ 件数 9件
- ・ 過徴収金額 700円

ロ 措置の内容

(イ) 各種会議、研修会等への出席

事案の発生を受けて開催された、緊急県下生活安全課長会議、許可等事務担当者研修会等に職員を出席させるとともに、出席者から課員に対する具体的な指導教養を実施させ、再発防止の徹底を図った。

(ロ) チェック表を活用した点検の実施

平成25年7月に、本部主管課から指示されたチェック表を活用して、許可等事務処理要領等の資料（平成25年4月受領）を許可等事務担当者及び各級幹部が、公安委員会関係手数料条例の手数料項目ごとに突合点検を実施して再発防止に努めた。

(22) 古川警察署

イ 監査委員の報告の内容

遊技機変更承認申請等に係る証紙徴収において、条例の確認不足により複数年にわたり手数料を過徴収していたことが認められたので、再発防止に向けて速やかに事務の改善を

講じられたい。

(内容)

- ・件数 203件
- ・過徴収金額 8,360円

ロ 措置の内容

(イ) 各種会議，研修会等への出席

事案の発生を受けて開催された，緊急県下生活安全課長会議，許可等事務担当者研修会等に職員を出席させるとともに，出席者から課員に対する具体的な指導教養を実施させ，再発防止の徹底を図った。

(ロ) チェック表を活用した点検の実施

平成25年7月に，本部主管課から指示されたチェック表を活用して，許可等事務処理要領等の資料（平成25年4月受領）を許可等事務担当者及び各級幹部が，公安委員会関係手数料条例の手数料項目ごとに突合点検を実施して再発防止に努めた。

(23) 遠田警察署

イ 監査委員の報告の内容

遊技機変更承認申請等に係る証紙徴収において，条例の確認不足により複数年にわたり手数料を過徴収していたことが認められたので，再発防止に向けて速やかに事務の改善を講じられたい。

(内容)

- ・件数 99件
- ・過徴収金額 4,640円

ロ 措置の内容

(イ) 各種会議，研修会等への出席

事案の発生を受けて開催された，緊急県下生活安全課長会議，許可等事務担当者研修会等に職員を出席させるとともに，出席者から課員に対する具体的な指導教養を実施させ，再発防止の徹底を図った。

(ロ) チェック表を活用した点検の実施

平成25年7月に，本部主管課から指示されたチェック表を活用して，許可等事務処理要領等の資料（平成25年4月受領）を許可等事務担当者及び各級幹部が，公安委員会関係手数料条例の手数料項目ごとに突合点検を実施して再発防止に努めた。

(24) 築館警察署

イ 監査委員の報告の内容

遊技機変更承認申請等に係る証紙徴収において，条例の確認不足により複数年にわたり手数料を過徴収していたことが認められたので，再発防止に向けて速やかに事務の改善を講じられたい。

(内容)

- ・件数 50件
- ・過徴収金額 1,440円

ロ 措置の内容

(イ) 各種会議，研修会等への出席

事案の発生を受けて開催された，緊急県下生活安全課長会議，許可等事務担当者研修会等に職員を出席させるとともに，出席者から課員に対する具体的な指導教養を実施させ，再発防止の徹底を図った。

(ロ) チェック表を活用した点検の実施

平成25年7月に，本部主管課から指示されたチェック表を活用して，許可等事務処理要領等の資料（平成25年4月受領）を許可等事務担当者及び各級幹部が，公安委員会関

係手数料条例の手数料項目ごとに突合点検を実施して再発防止に努めた。

(25) 大河原警察署

イ 監査委員の報告の内容

遊技機変更承認申請等に係る証紙徴収において、条例の確認不足により複数年にわたり手数料を過徴収していたことが認められたので、再発防止に向けて速やかに事務の改善を講じられたい。

(内容)

- ・件数 295件
- ・過徴収金額 9,900円

ロ 措置の内容

(イ) 各種会議，研修会等への出席

事案の発生を受けて開催された，緊急県下生活安全課長会議，許可等事務担当者研修会等に職員を出席させるとともに，出席者から課員に対する具体的な指導教養を実施させ，再発防止の徹底を図った。

(ロ) チェック表を活用した点検の実施

平成25年7月に，本部主管課から指示されたチェック表を活用して，許可等事務処理要領等の資料（平成25年4月受領）を許可等事務担当者及び各級幹部が，公安委員会関係手数料条例の手数料項目ごとに突合点検を実施して再発防止に努めた。

(26) 角田警察署

イ 監査委員の報告の内容

遊技機変更承認申請等に係る証紙徴収において、条例の確認不足により複数年にわたり手数料を過徴収していたことが認められたので、再発防止に向けて速やかに事務の改善を講じられたい。

(内容)

- ・件数 71件
- ・過徴収金額 3,280円

ロ 措置の内容

(イ) 各種会議，研修会等への出席

事案の発生を受けて開催された，緊急県下生活安全課長会議，許可等事務担当者研修会等に職員を出席させるとともに，出席者から課員に対する具体的な指導教養を実施させ，再発防止の徹底を図った。

(ロ) チェック表を活用した点検の実施

平成25年7月に，本部主管課から指示されたチェック表を活用して，許可等事務処理要領等の資料（平成25年4月受領）を許可等事務担当者及び各級幹部が，公安委員会関係手数料条例の手数料項目ごとに突合点検を実施して再発防止に努めた。

(27) 亘理警察署

イ 監査委員の報告の内容

遊技機変更承認申請等に係る証紙徴収において、条例の確認不足により複数年にわたり手数料を過徴収していたことが認められたので、再発防止に向けて速やかに事務の改善を講じられたい。

(内容)

- ・件数 149件
- ・過徴収金額 4,400円

ロ 措置の内容

(イ) 各種会議，研修会等への出席

事案の発生を受けて開催された、緊急県下生活安全課長会議、許可等事務担当者研修会等に職員を出席させるとともに、出席者から課員に対する具体的な指導教養を実施させ、再発防止の徹底を図った。

(ロ) チェック表を活用した点検の実施

平成25年7月に、本部主管課から指示されたチェック表を活用して、許可等事務処理要領等の資料（平成25年4月受領）を許可等事務担当者及び各級幹部が、公安委員会関係手数料条例の手数料項目ごとに突合点検を実施して再発防止に努めた。